

2010年1月1日～2024年12月31日の間に脳卒中を発症し、
入院中にリハビリテーション(理学療法・作業療法・言語聴覚療法)
を受けられた方及びご家族の方へ

—「当院における脳卒中患者の背景因子・リハビリテーション介入の把握」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	理学療法士	岡田 有司
研究分担者	川崎医科大学	リハビリテーション医学	教授	平岡 崇
	川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	理学療法士	白神 良樹
	川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	理学療法士	吉田 耕治

1. 研究の概要

日本は超高齢化社会であり、要支援または要介護の高齢者が増加しています。特に、脳卒中は、要介護の第1位を占め、60から70歳代に多いと報告され、脳卒中の入院患者数は増加傾向と推計されています。近年の脳卒中超急性期治療は、血の固まりを溶かす rt-PA や、血の固まりを機械でとる血栓回収療法により、劇的に機能障害を改善させ、自立生活を送ることを可能とさせています。脳卒中を発症して間もない患者さんのリハビリテーションは、病気になって間もない時期から開始し、ベッドから起き上がって動くことが推奨されていますが、個々の患者さんの体全体の病態に応じた開始の検討が求められています。

脳卒中患者さんの背景や脳卒中超急性期治療の変化に加えて、脳卒中リハビリテーションも年次的に変化しています。そのため、脳卒中患者の経年変化を把握することは、今後の超高齢化が加速する日本において、重要なことと考えられます。

本研究は、患者さんの過去のデータを使用させて頂き、以下のことを実施します。

1. 脳卒中患者さんの年齢や性別などの背景因子、2. 脳卒中患者さんの入院治療や入院経過、3. リハビリテーション介入（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）、4. **生命・機能予後**において、それぞれの経年的変化を調査します。

本研究で得られたデータは、今後のリハビリテーションに活用しようと考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年1月1日から2024年12月31日の間に脳卒中を発症し、入院中にリハビリテーション(理学療法・作業療法・言語聴覚療法)を受けた患者さん約4900名を研究対象とします。

2) 研究期間

2025年12月31日～2030年12月31日

3) 研究方法

2010年1月1日から2024年12月31日の間に脳卒中を発症し、入院中にリハビリテーション（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）を受けた患者さんで、年齢や性別、発症前の日常生活動作能力、リハビリテーションの介入の経年変化を調査し、経年的な変化の有無や程度に関して分析する。

4) 使用する情報の種類

年齢、性別、発症前の日常生活動作能力、リハビリテーションの実施単位数や実施日数等です。

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター控室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とさせませんので、2030年6月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター 理学療法士

氏名：岡田 有司

電話：086-462-1111 内線 22830（平日：9時00分～17時00分）

メールアドレス：yuuji@med.kawasa-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

本研究において資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。